

【第289号 紙面案内】

第2面……………第70回全国研究大会開催校案内

第3～6面……地域部会案内、大会報告者募集の告知、各種連絡

第70回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 杉山 三七男（静岡産業大学）

日本マネジメント学会第70回全国研究大会は、「地域企業の経営戦略とマネジメント」を統一論題に掲げ、11月14日(金)から16日(日)までの三日間の日程で、静岡県西部にある静岡産業大学磐田キャンパスで開催させていただくことになりました。

浜松市を中心とするこの静岡県の西部地区は、オートバイの生産に代表される製造業の工場が多く集積したところであります。経済の成長とともに、職を求めて多くの人が集まってきました。しかし、この勇ましい話は過去のものかもしれません。景気の低迷や工場の移転などの影響でしょうか、この静岡が人口減少県になってしまったのです。それも、太平洋ベルト地帯においてであります。

そのような状況で、この地区は変化することが求められているように思われます。それでは、どのように生きて行けばよいのか。ここでは、その手掛かりを求めてみようと思っています。部品の製造を得手としてきたこの地区が、その技術を基礎に新たな挑戦をしているのです。プラスチック成形からスポーツ・健康用品製造へ、自動車部品製造から電子部品製造へ。加えて、静岡にある古よりの恵みは農業です。まったく農業に関わりの無かった方が、農産物の商品開発や流通に関わる仕事を生み出してきたのです。

これらの事例は、この地域にある企業の経営戦略とその転換として把握することができましょう。そこで、この点を今回の統一論題とさせていただきました。そして、この第70回の研究大会を象徴する基調講演には、この地区を代表する世界的企業ヤマハ発動機の元社長である戸上常司氏に登壇をお願いしました。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

第70回全国研究大会開催校案内

静岡産業大学は、母体である静岡学園の建学の精神「孝友三心（服する心、感謝する心、全うする心）」を継承し、「東海に静岡産業大学あり」と言われる小粒だがキラリと光る個性ある存在になることを目指しており、豊かな教養と、高潔な倫理観、人間愛、社会に対する広い貢献意識を備えた職業人と社会のリーダーの育成に努めるものであります。このような理念に基づき、1994年に、磐田市との公私協力方式によって磐田キャンパスに経営学部経営環境学科が開設されました。その後1998年には、先行して藤枝キャンパスに設置されていた短期大学部を国際情報学部とし、二学部体制になりました。

近年大学を取り巻く環境は大きく変化しております。当大学では、そうした変化に対応すべく改革を重ねてまいりました。2001年には、経営学部情報マネジメント学科を開設しました。2005年になると、経営学部を経営学科とスポーツ経営学科に、国際情報学部を情報デザイン学科と国際情報学科に編成替えしました。そして2012年に、経営学部心理経営学科を開設して今日にいたっています。

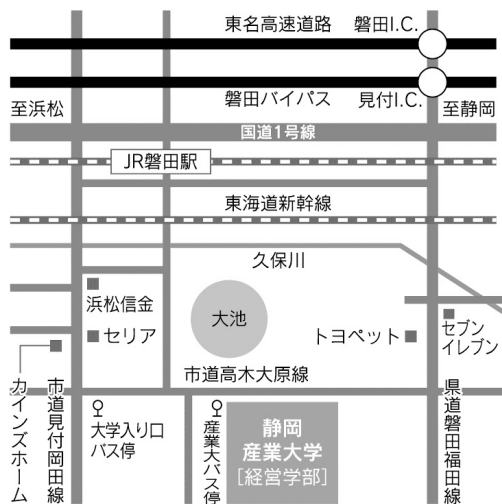
静岡産業大学へのアクセスは、JR東海道線の磐田駅が基本となります。新幹線の浜松駅か掛川駅で乗り換えて磐田駅までお越しく下さい。磐田駅と大学の間に専用のバスを運行いたします。徒歩では、磐田駅から南に一直線に30分弱で着きます。なお、土曜日は路線バスもごさいますが、本数が少なく、日曜日はそれもありません。専用のバスをご利用ください。自動車でお越しの方は、磐田インターを出て南に下ってください。新幹線の高架下をくぐったあたりから南西方向に大学が見えてまいります。なお懇親会は、浜松駅前のホテルクラウンパレス浜松で行います。大会参加の計画をたてる参考にしてください。

（要注意）

静岡産業大学のある磐田市では、全国研究大会の開催日と重なる11月16日(日)にジュビロ・マラソンを企画しております。そして、そのコースに静岡産業大学が入っているのです。そのため、概ね日曜日の午前9時から11時にかけて北側の道路が通行できなくなります。当大学の駐車場はそのコースの途中にあるので出入りできません。また、磐田駅—静岡産業大学間の専用バスも乗降場所が変更になります。係の者をおきますので、当日は係の指示に従ってください。

（特別講演、企業見学）

日本マネジメント学会の第70回全国研究大会は、静岡県磐田市にある静岡産業大学で開催されます。そこで15日(土)の特別講演は、同じ磐田市に本社を置くヤマハ発動機株式会社の元社長で現在顧問をされている戸上常司様をお願いいたしました。戸上様は、静岡産業大学の理事も引き受けてくださっています。そこで、14日(金)の企業見学もヤマハ発動機株式会社の磐田工場を予定しております。参加される方は、ハガキに連絡先を明記してください。



◇◇関東部会からのお知らせ（報告者募集）◇◇

関東部会長 手塚 公登（成城大学）

第3回関東部会は12月6日(土)に東洋大学で開催される予定です。報告プログラムにつきましては、次回会報および学会ホームページに掲載します。ご参加のほど、よろしくお願い致します。また関東部会では随時報告者を募集しております。

問い合わせ先 手塚公登 (tezuka@seijo.ac.jp)

◇◇関西部会からのお知らせ（報告者募集）◇◇

関西部会長 佐々木 利廣（京都産業大学）

平成26年度第2回関西部会を以下の日程で開催予定です。現在報告者を募集しております。報告を希望される方は、報告タイトル等（仮題でも結構です）を10月末までに下記の幹事あるいは佐々木まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお関西部会では随時報告者を募集しております。

1. 日時：平成26年12月6日(土) 13時30分～
2. 場所：認定特定非営利活動法人 大阪NPOセンター
〒541-0046 大阪市中央区平野町1-7-1 堺筋高橋ビル5F
3. その他（報告の応募先）
部会会長 佐々木利廣（京都産業大学）E-mail：sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp
部会幹事 堀野亘求（大阪NPOセンター）E-mail：i1351029@cc.kyoto-su.ac.jp

◇◇中国・九州部会報告◇◇

古市 承治（福岡国税局）

平成26年8月23日(土)14時、福岡工業大学A棟3階において、平成26年度第1回中国・九州部会が開催校担当委員松藤賢二郎（福岡工業大学）により開催された。福岡工業大学は、福岡市の最東部にあり新宮町に隣接し、鹿児島本線JR福工大前駅に直結されており、快速電車が停車する便利なところである。理系大学でありながら、社会環境学部（文系）があり、キャンパス自体がビオトープのような緑豊かなすばらしい施設環境であった。

篠原淳（熊本学園大学）中国・九州部会長の開会挨拶により開始された。第1報告は、河内明人（AKマネジメントパートナー）「企業の社会的責任」であった。報告者の経歴（元大型家電量販店勤務）説明から始まり、企業の社会的使命、CSRの高まった背景・メリット、CSRを求める国の動向・産業界の取り組み、日本企業の不祥事・企業体質、今後の課題について報告さ



川邊 義隆 氏

れた。日本企業の不祥事を具体的に説明されたので、活発な質疑が行われた。

第2報告は、大塚知弘（日本経済大学）「公的サービスの効率性」であった。「一行動経済学の可能性を探る」という副題で、大学（公務員コース）での話題として、なぜ公的サービスの効率化の考察が必要か、公的サービスの効率化の先行研究、用語の定義、報告の要点について、財政赤字カウンター、イグノーベル賞、2枚3枚の写真の比較（同じものが違って見える）等、興味をそそるような内容の解説で報告された。日本企業の不祥事を具体的に説明されたので、活発な質疑が行われた。

特別講演は、「ほんわか、ふんわか、ほんわかほい」のコマーシャルソングで一世を風靡した株式会社八ちゃん堂創業者の川邊義隆氏による「たかがたこ焼き、されどたこ焼き～チャレンジMMQ～」であった。講演は、企業としての「たこ焼き屋」、家業でなくブランド化、家業・経歴・高額所得、経営資源・戦略・マーケティング・CM、商売は大胆さが必要、経営と登山は共通、MMQの話で締めくくられた。事業として、昭和52年「たこ焼き」の移動販売事業を創業、冷凍「たこ焼き」を開発、冷凍「焼きなす」をベトナムで生産、平成22年冷凍皮無しみかん「むかん」を販売。質疑では、「なぜたこ焼きか?」、「先を見る力のヒントは?」に明快に回答され会場を唸らせた。

報告終了後、部会の締め括りである懇親会では、遠方からの会員も参加され、相互交流の場となった。

平成26年度 産学交流シンポジウムのご案内

●日時・場所

平成26年9月20日(土)14時30分より

立教大学 池袋キャンパス マキムホール (15号館) 3階 M301

●統一テーマ：「サービス・マネジメントの本質を探る」

●講師：

太田範義 氏 (名古屋マリオット アソシアホテル 総支配人)

吉原敬典 氏 (目白大学 経営学部 教授)

●コーディネーター

吉村孝司 氏 (明治大学 会計専門職大学院 教授)

●タイム・スケジュール：

15:00 - 15:05	挨拶
15:05 - 15:50	太田氏 報告 (45分)
15:50 - 16:00	休憩
16:00 - 16:45	吉原氏 報告 (45分)
16:45 - 17:05	休憩 (コーヒープレイク)
17:05 - 18:15	討議
18:15 - 18:20	挨拶
18:30	名刺交換会(懇親会) 立教大学第一食堂

●費用

参加費 1,000円 ※大学院生は受付で学生証の提示により参加費無料になります
名刺交換会(懇親会)費 3,000円

●参加者は、産学交流担当 松村洋平 matsumura@ris.ac.jp まで、シンポジウム参加/名刺交換会(懇親会)参加をご連絡下さい(9月15日までにお知らせ下さい)。

<会報委員会より：産学交流シンポジウムの日程が、会報発行日と前後する可能性があるために、すでにホームページやメーリングリストでお伝えしております。>

第71回全国研究大会の自由論題募集について内

組織委員長 辻村 宏和(中部大学)

専修大学において開催される第71回全国研究大会(平成27年6月12日~14日)の自由論題を募集致します。詳細につきましては次号の会報にて改めてお知らせ致します。なお、応募締切は、平成27年1月末日を予定しております。

各種連絡**●総務委員会からのお知らせ**

総務委員会では日本マネジメント学会メールマガジンを発行しています。まだお手元に届いていない場合には、メールアドレスが登録されていないか、間違っていて登録されている可能性があります。その場合にはお手数ですが、学会事務局か総務委員会まで御連絡ください。よろしく願い申し上げます。

●日本マネジメント学会の移転のお知らせ

既に当学会HPおよび7月刊行の機関誌の送付時にご案内しましたように、当学会は8月18日に新住所に移転しましたのでお知らせします。

<新住所>

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング3F
(株)山城経営研究所内
TEL:03-6674-1836
FAX:03-5228-1233

●会費未納の方は早急にお納め下さい

平成 26 年度（4 月～3 月）の学会会費の未納者は、早急に納入をお願い致します。

当学会は、会員の皆様方の会費で運営されております。学会の会則第 6 条によると、会費は遅くとも 6 月 30 日までに納入することになっていますが、8 月末時点で全会員数の 3 割強、230 名強の方が未納の状況となっています。2 ヶ月に一回の会報送付時に会費未納の方々には、請求書を毎回送付しており、このための事務作業も煩雑になっております。

つきましては、このような状況をご勘案いただき、会費納入のご協力を切にお願い申し上げます。なお、会費の納入方法は、次のいずれかです。

- ① 郵便振込の場合（会報に同封の当学会の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。）

口座番号：00150-7-535064

- ② 銀行振込の場合

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418

●住所変更等は速やかにお知らせください

会報、機関誌、全国大会資料等の発送には宅配メール便を利用しています。

つきましては、住所変更、住居表示の変更、勤務先の変更等がありましたら、お手数ですが、速やかに学会事務局までご連絡下さい。メール便は転居先には転送されませんので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

本棚～会員の最新刊著書を紹介します～

- ・今井 祐 著『経営者支配とは何か
～日本版コーポレート・ガバナンス・コードとは』
文眞堂 2,000円＋税

編集後記

会報委員に就任してから 2 年が経ちました。この間、皆様のご協力もあり、大きな遅れもなく刊行できましたことを感謝致します。

会報委員会一同

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp